

グランプリに 別所砂留を守る会

土木学会市民普請大賞

土木学会は、市民が主体となつて地域を豊かにする公共活動を表彰する「市民普請大賞2016」の受賞団体を決めた。23日に東京・四谷の土木学会講堂で1次選考を通過した6法人・団体の取り組みを審査し、グランプリには「別所砂留を守る会」(広島県)の活動を選んだ。このほか準グランプリ、優秀賞、特別賞

も選定された。表彰式も行われ、田代民治会長から受賞した企業や団体の代表に賞状などが贈られた。

表彰式で田代会長は「地域の皆さんがいろいろな活動を展開している努力に感心した。こうした活動を通じて土木の世界、役割が市民に理解されることを期待し



ている」とあいさつした。

グランプリを受賞した別所砂留を守る会は、地域住民が中心となり、広島県福山市芦田町にある近世最大の砂防施設群「別所砂留」の整備・保存を行うとともに、見学会の開催を通じて啓発活動を展開し、地域の活性化に貢献していることが高く評価された。

準グランプリには、北川かっぱの会(東京都)の「市民提案による北川の自然護岸化と粗石付双斜曲面式魚道の設置」、建設コンサルタンツ協会九州支部(福岡県)の「市民アイデアから生まれたヤギ・ヒツジ等の小型家畜を用いた除

草モデルの確立」を選定。

優秀賞は、植村建設(北海道)の「地域の安全・安心『安全の駅』の整備と、市民防災体験会の開催継続」NPO法人がんばりよるよ屋野村(福岡県)の「日本の棚田百選『広内・上原棚田』復興に向けて」、上西郷川日本一の郷川をめざす会(福岡県)の「上西郷川における市民普請『日本一の郷川に向けた川づくり』」が選ばれた。植村建設の活動は特別賞も受賞した。

グランプリ、準グランプリ、
優秀賞各賞の受賞者と田代会
長ら